



真剣でズバッと一閃 忍術学院で忍者になる

(奈良県・奈良市)



ご当地のマドンナが案内する最旬の外遊びガイド

日本全県アウトドア巡り

その47

奈良県

忍者といえば、戦国時代のサバイバリスト。山を駆け、谷を越え、野に潜む。アウトドア的レジェンドといえなくもない存在？ そんな忍者体験をできる場所が奈良にあると聞きつけ、さっそく向かったのだ。

「え？ これ真剣なんですか？」
もっとライトなものを予想していただけに、このガチさに、マドンナも戸惑いを隠せない。

待ち構えていたのは黒装束を纏った忍者の一人。中でもひときわオーラを放っていたのが「忍術学院」の長、真田流忍術を極めた澤田平氏。マドンナの佐伯さんも、くノ一スタイルで準備万端。「忍術は総合武道」というのが澤田氏の考えで、自身も、空手、柔道、居合、剣道などの有段者。ここでは剣術や弓術、投擲術などを体験できる。「ではさっそく修行を始めましょう」という、澤田氏から手渡されたのは日本刀。これで俵を斬るといふ。

現存する8人の忍者のひとり！

今月の先生

忍術学院院長
澤田平さん

忍者としての号(別名)は澤田豊平高。数々の武道を修め、御年80歳とは思えない身のこなし。塚鉄砲研究会主宰や、甲冑や古式銃の鑑定士としての顔も持つ。



普段の衣装はこんな感じです

今月のマドンナ

ミス奈良 佐伯理恵さん

奈良生まれ奈良育ち。第29代のミス奈良として、観光大使のイベントなどを盛り上げている。高校時代はバスケット部所属。運動神経抜群の長身美女。



漫画なんかで知っているのとはちょっと違うけど、手裏剣はまっすぐ縦に投げ下ろすのが正解。上手く投げれば畳にシュパッと突き刺さる。実際は毒を塗って使っていた。

忍者といえばコレ！ 手裏剣を投げるのだ



もちろん
銃初体験！



忍者は武芸全般に秀でるも！
火縄銃だって撃っちゃうもんね

弓術は、狙った所に当てるのがかなり難しい。吹き矢はターゲット感覚で、家にひとつ欲しいかも(笑)。砲術家としての顔も持つ澤田氏の指導で、火縄銃の構え方なども。



鎖鎌などの 特殊な武器や 簡単な護身術の 心得も

特殊武器も体験。鎖鎌は、切りつけるほかに分銅部分で打撃を与えることもできる。十手は刀を受け止め、絡みとることができる武器。護身術も学べる。



最後は認定書を授与
新人忍者の誕生なのだ

晴れて修行終了。いま、忍者の先生は澤田氏を入れてわずか8人。同行した弊誌カメラマンがまさかの忍術センスありで、澤田氏にスカウトされました(笑)。

ちょっと怖いけど
思い切ってエイッ！



エッ？ いきなり真剣？ 俵斬りから スタート



裂帛の気合いとともに振り下ろされる先輩忍者の試技は圧巻。斜め45度を意識すれば、力のない人でもスパッと。時代劇のように横から切るのには実際には無理なんだった。

数回の素振りの後に、いざ俵斬り！ 師匠の教えどおり、刀が45度の角度で入るようにマドンナが振り下ろすと、見事に俵がポトリ。「スツと入る感じで、ちょっと気持ちいいです！」とマドンナも興奮気味。そりゃそうさ。こんな体験なかなかできるもんじゃない。

続いて、忍者の代名詞的武器の手裏剣投擲や、弓術、吹き矢などの体験が続くが、師匠の教え方の良さもあってか、マドンナは次々と華麗にクリア。最終的には火縄銃練習用で弾はで

ません！(までぶっ放して、ひととおりの実技は終了)。

その後の座学では、さまざまな忍者道具を広げての、澤田氏の解説を聞く。聞けばどの道具も、実際に使われていた骨董品しかし、こんな貴重なものをどうして……？ と思つて聞いてみると、実は澤田氏是有名TV番組に鑑定士として登場するといふ、もうひとつの顔も持っていた。「真田幸村が家康を狙撃しようとした銃も、私が発見したんです」とサラリ。

部屋を見渡すと、警察署から

犯人逮捕の感謝状が3枚。飛行機や船舶の免許も所有しているというし、火縄銃界では知らない人がいないほどのレジェンド。現代の忍者、澤田氏の底が知れない……。





ここはかつての柳生の里 剣豪ゆかりの史跡も多数

忍術学院があるのは、兵法指南役として將軍家に仕えた柳生家ゆかりの地。旧家老屋敷や二刀岩、柳生正末坂剣禪道場など、見所がたくさんある。宮本武蔵も歩いたとされる、奈良市街から抜ける柳生街道もあり、片道5時間の古道トレッキングも楽しめる。



ワンタッチでストローが出現
片手でどこでもすぐ飲める！

保冷専用の高性能な真空断熱ボトルに、飲みやすいストローが付いたモデル。ワンタッチで開けられ、ストローが飛び出す仕組み。ストローやバルブ、飲み口、パッキンなどは交換することができる。
真空断熱ストローボトル/FHL-400 0.4ℓ オープン価格